

## 東京 IPO 特別コラム

2017年2月24日 Vol.69

### 活況を呈するIPO市場

NYダウが30年ぶりの14営業日連続高となっています。トランプ相場の活況ぶりが象徴的に指標の上昇に反映されてきました。既にNYダウは21000円台乗せが目前に迫ってきました。通常なら米国株と連動して日経平均やTOPIXの上昇が想定されるのですが、皆さんご存知の通り、日本株の指標は一部の銘柄の変動や為替に影響を受けやすく、結果としてなかなか一気に上昇という訳には至っていません。ましてや老舗企業の代表とも言える東芝の行方が気になり誰もが知っている企業への投資が手控え気味になっている状況が見られます。一方ではJASDAQ指数やマザーズ指数、東証2部指数といった中小型株指数はNYダウと同様に堅調な上げを続けています。

こうした市場の潮流を背景に直近のIPO市場が活況を呈しています。本来は東証1部銘柄に流れるべきお金の一部がIPO市場に入ってきただけで需給が良くなり各銘柄の上昇につながります。ここ2年程度の期間にIPOを果たした銘柄は170余りありますが、その中の多くは上場後しばらく株価が停滞したとしても、その後力強い上昇を示している事例が数多くあることに気が付きます。とりわけIPO後1年という期間の中で、積極的なIR活動を行うことで投資家の支持を集めて株価の上昇、時価総額の高まりという好循環につながることでマザーズ指数やJASDAQ指数の上昇に寄与してきた可能性があります。

今年は既に1月から2月までに6社がIPOを果たし、3月には一気に21社がIPOする予定となっています。2月IPO銘柄には安江工務店(1439)のように上場初値が公開価格(1250円)の4%上で寄り付き高値2554円まで倍近くにまで至った銘柄もあるなど3月の前哨戦となる1-2月のIPOはいずれも堅調なスタート。とりわけ昨日の3社のうちマザーズ上場の「てけてけ」ブランドの居酒屋を展開するユナイテッド&コレクティブ(3557)と、札幌アンビシャスに上場したダイレクトマーケティング事業のフュージョン(3977)の2銘柄は初日寄らずじまいとなり、2日目の本日に公開価格の2倍以上で取引が開始されるものと推察されます。マザーズ上場で再生可能エネルギー事業を比較的大規模に展開するレノバ(9519)に至っては初日に公開価格750円を50%上回る1125円で寄り付き、引けはその株価からストップ高(300円高)となる1425円で終わっています。放出株が多かったのか初値が案外安く寄ったという印象でしたので、初値で投資された方は大きなリターンが得られたと見られます。

実は直近上場銘柄だけではなく過去1,2年程度の中でIPOを果たした比較的事業内容が堅調な成長企業と言うべき銘柄の株価は堅調です。中小型株を専門に投資する機関投資家や外国人投資家が主たる投資家層と言えますが、好需給に支えられ株価は右肩上がり続けている事例も見出せます。一方で、大型IPOはやや停滞気味に推移しており、その典型がLINE(3938・公開価格3300円)であったり、日本郵政グ

## 東京 IPO 特別コラム

---

ループ3社（日本郵政（6178）、ゆうちょ銀行（7182）、かんぽ生命（7181））であったりします。昨年7月に話題を集めてIPOを果たしたLINEの株価は忘れ去られたように下落し、先日3500円を割れ、公開価格に接近中。業績面では比較的ポジティブなだけにその背景は需給面に求められます。郵政3社は政府の第2次放出が接近していると見られ、これも需給面では重いという印象があるが、配当利回りが株価を下支えしてくれそう。このように値動きの重い大型IPO銘柄を避け、好需給で成長のベクトルの高い銘柄にリスクマネーが投じられている昨今の相場はいよいよ3月IPO相場につながって参ります。数が21銘柄と多いだけに需給が不安視される可能性もありますが、有名人率いる、ほぼ日（3560）のように将来性はともかくIPO前から話題を呼んでいる銘柄も出てきました。活況を呈するIPO市場に登場する21銘柄を本コラムでもじっくりと皆様にお伝えして参りたいと思います。

（東京IPOコラムニスト 松尾範久）